

震災により都知事選挙への関心が高まった 35%

～ 都知事選挙及び区市町村選挙における世論調査結果の概要 ～

I 世論調査の概要

- ◆調査対象 東京都全域（島部を除く）に居住する満20歳以上の男女個人
- ◆回収数 1,991人（対象数：3,000人、回収率：66.4%）
- ◆調査期間 平成23年7月22日（金）～8月7日（日）

II 主な調査結果

《都知事選挙》

- 1 東日本大震災の発生による都知事選挙への関心度の変化（別紙2ページ）
 - 高くなった 34.5%
 - 下がった 10.1%
- 2 関心が高くなった理由（別紙2ページ）
 - ・都の防災対策の重要性から 46.4%
 - ・震災時なので強い指導者を選ぶことが必要だと思ったから 31.6%
 - ・被災地支援の重要性から 17.1%
- 3 投票した候補者の選定理由（複数回答）（別紙5ページ）
 - ・東京都全体のことを考えてくれる人だと思ったから 52.9%
 - ・候補者の政策や主張に賛成だから 29.6%
 - ・人柄、経歴などから都政を託すのに最適な人だと思ったから 28.6%
- 4 選挙の際に期待した政策（複数回答）（別紙7ページ）
 - ・行財政改革 40.3%
 - ・防災対策 37.7%
 - ・景気・雇用対策 35.2%
- 5 AKB48の都知事選挙PR活動の認知度は22%（別紙10ページ）

《区市町村選挙》

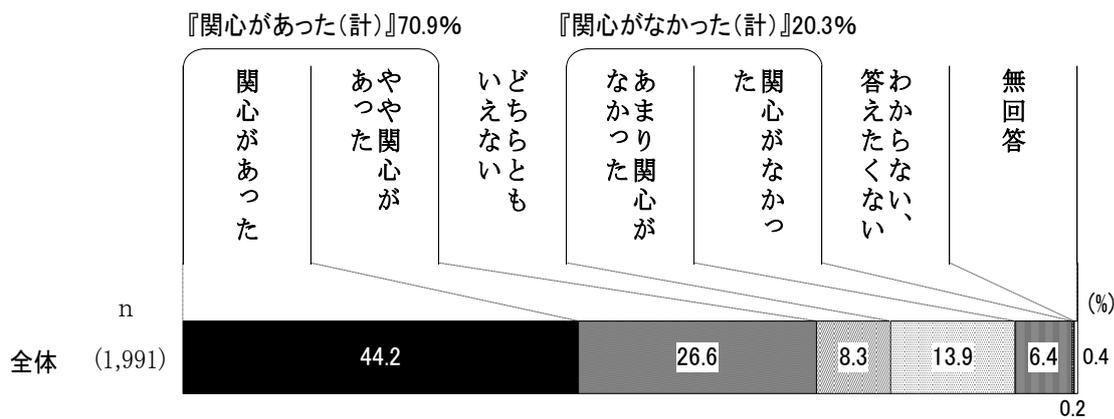
長・議員ともに「関心があった（計）」は約5割（別紙11ページ）

世論調査結果の概要

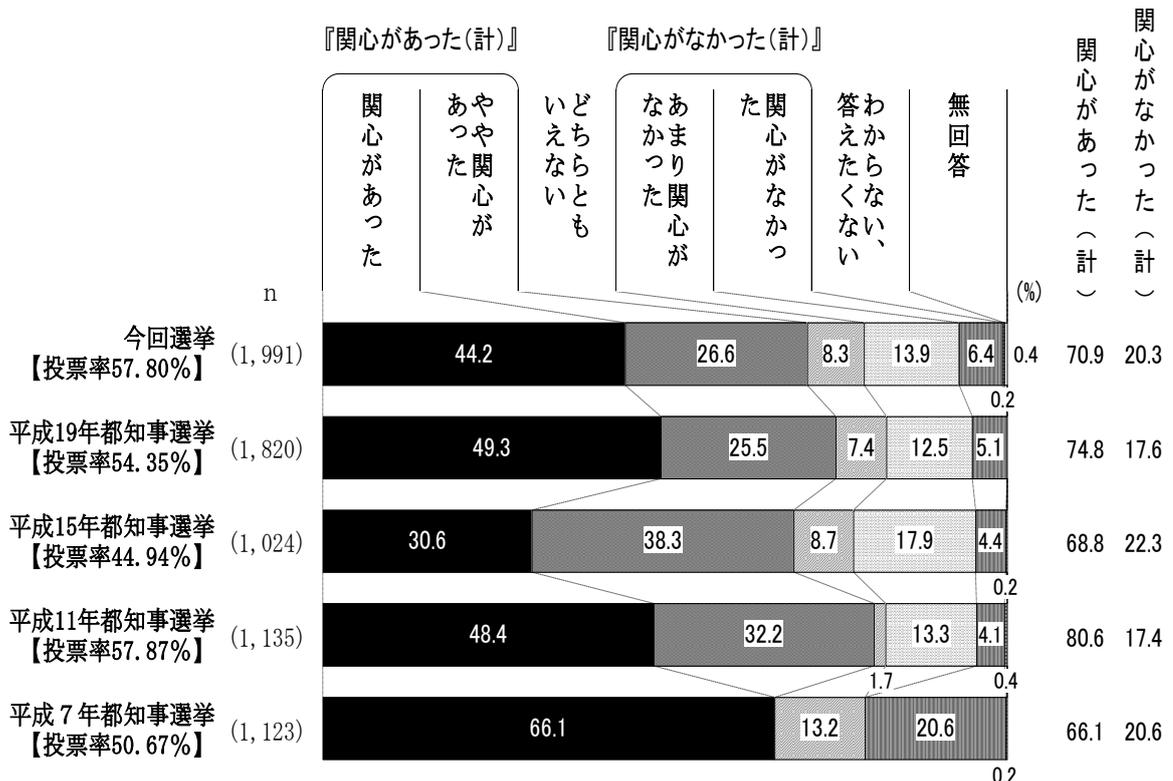
1 都知事選挙に対する意識

(1) 選挙への関心度(本文 19 ページ)

「関心があった(計)」は7割を超えたが、前回選挙から約3.9ポイント減少している。時系列比較では、平成15年及び平成7年に比べて高くなっている。

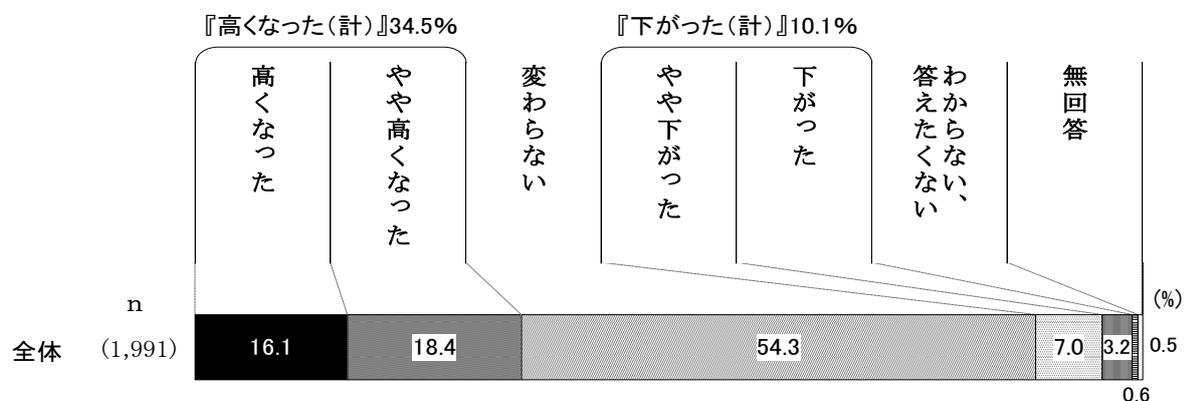


時系列比較



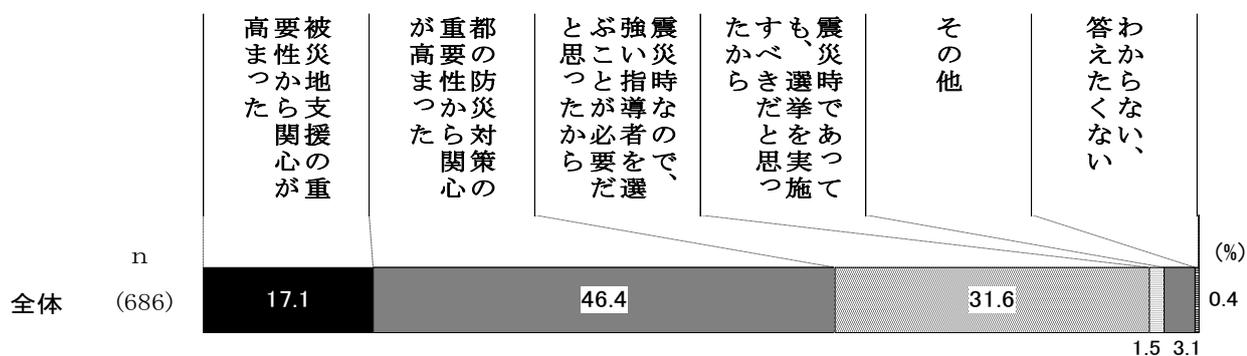
(2) 東日本大震災の発生による選挙への関心度の変化(本文 24 ページ)

「高くなった」の3割台半ばに対し、「低くなった」が約1割となっている。



(2-1) 関心が高くなった理由(本文 28 ページ)

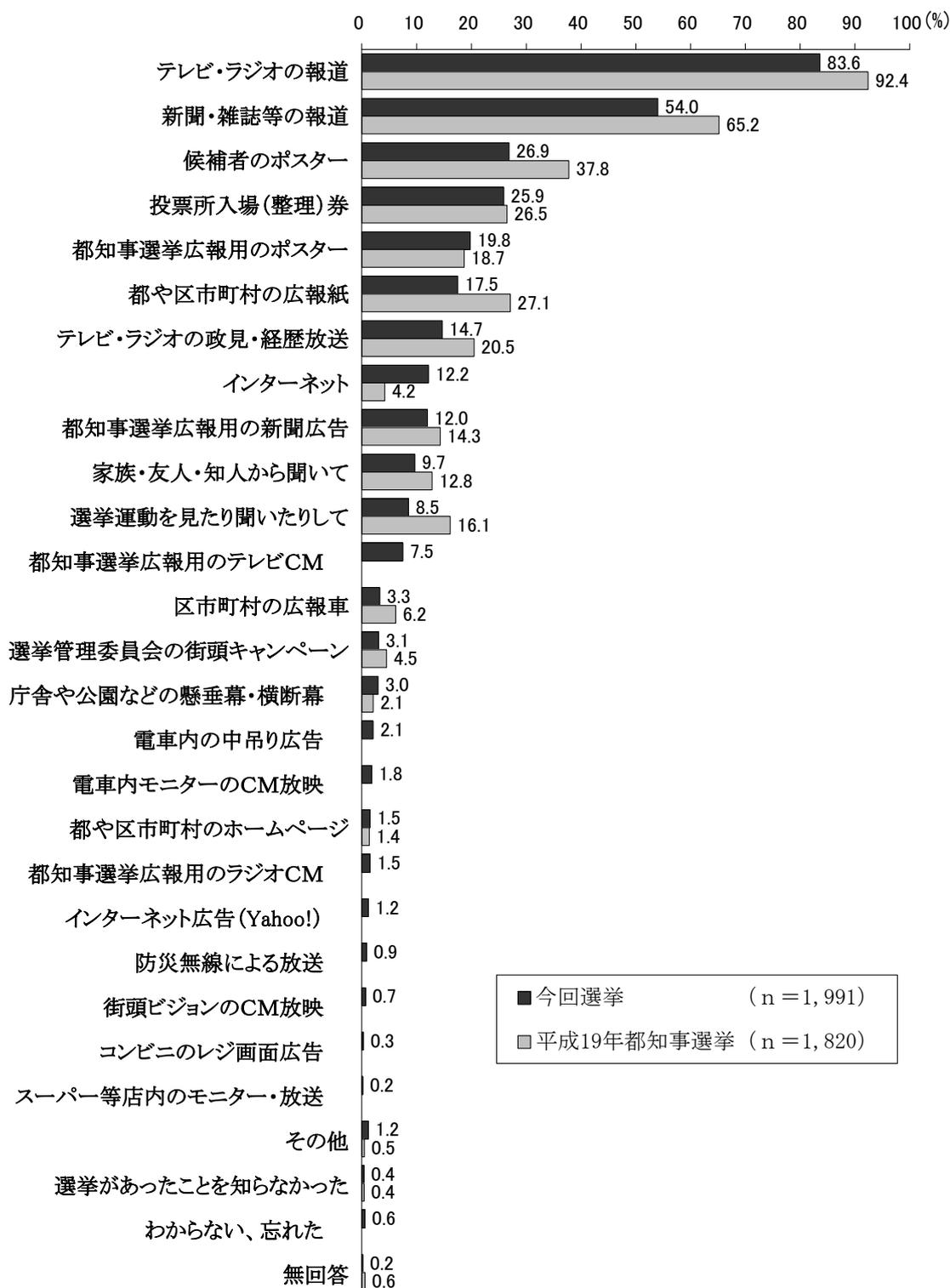
「都の防災対策の重要性から関心が高まった」が4割台半ばで最も高く、次いで「震災時なので強い指導者を選ぶことが必要だと思った」が3割を超えている。



(3) 都知事選挙の認知経路「選挙が行われることを何で知りましたか」

(複数回答：本文 35 ページ)

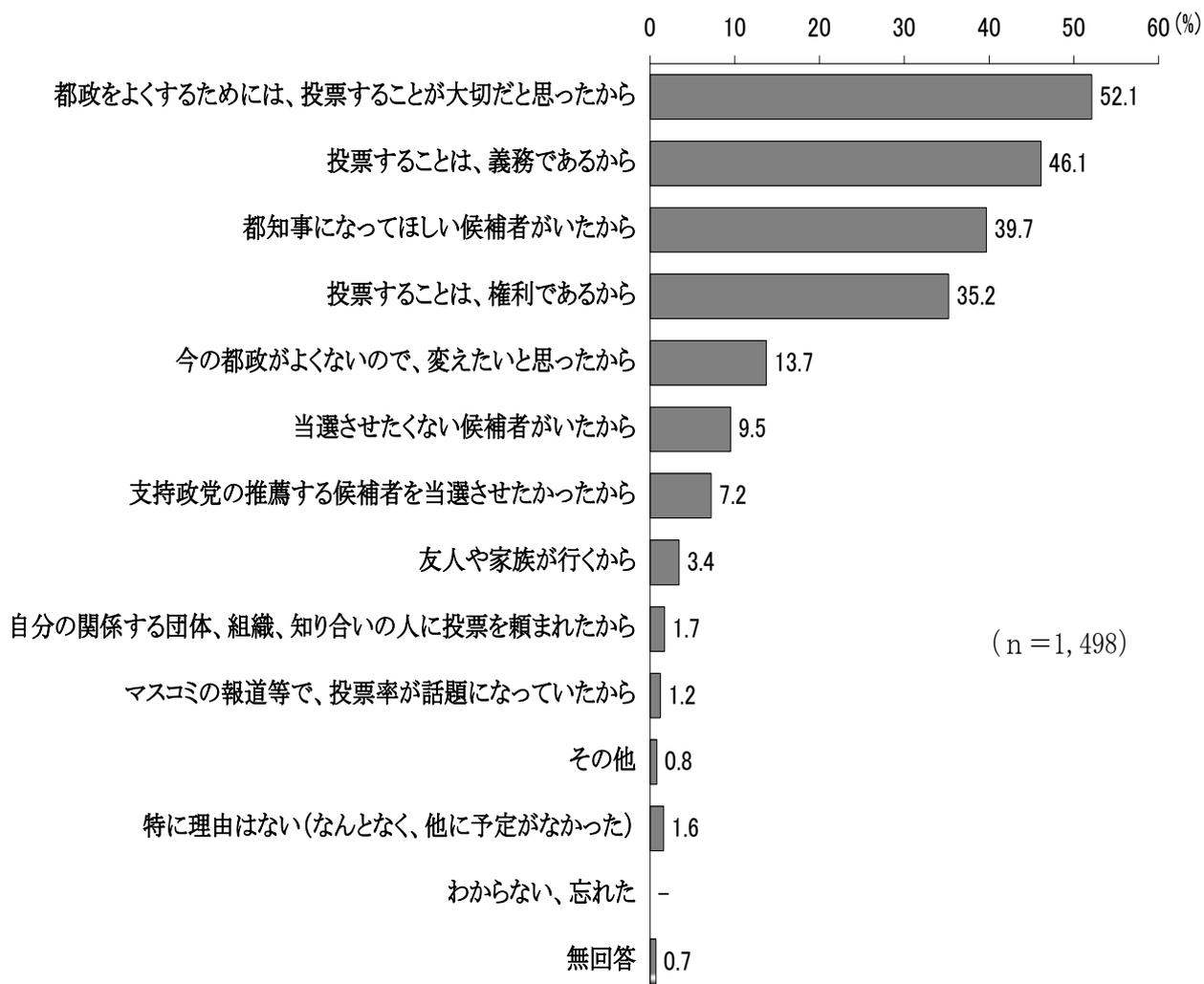
「テレビ・ラジオの報道」が 8 割を超えて最も高く、「新聞・雑誌等の報道」が 5 割台半ばで続いている。前回割合との比較では、多くの媒体で低下している。



2 投票行動

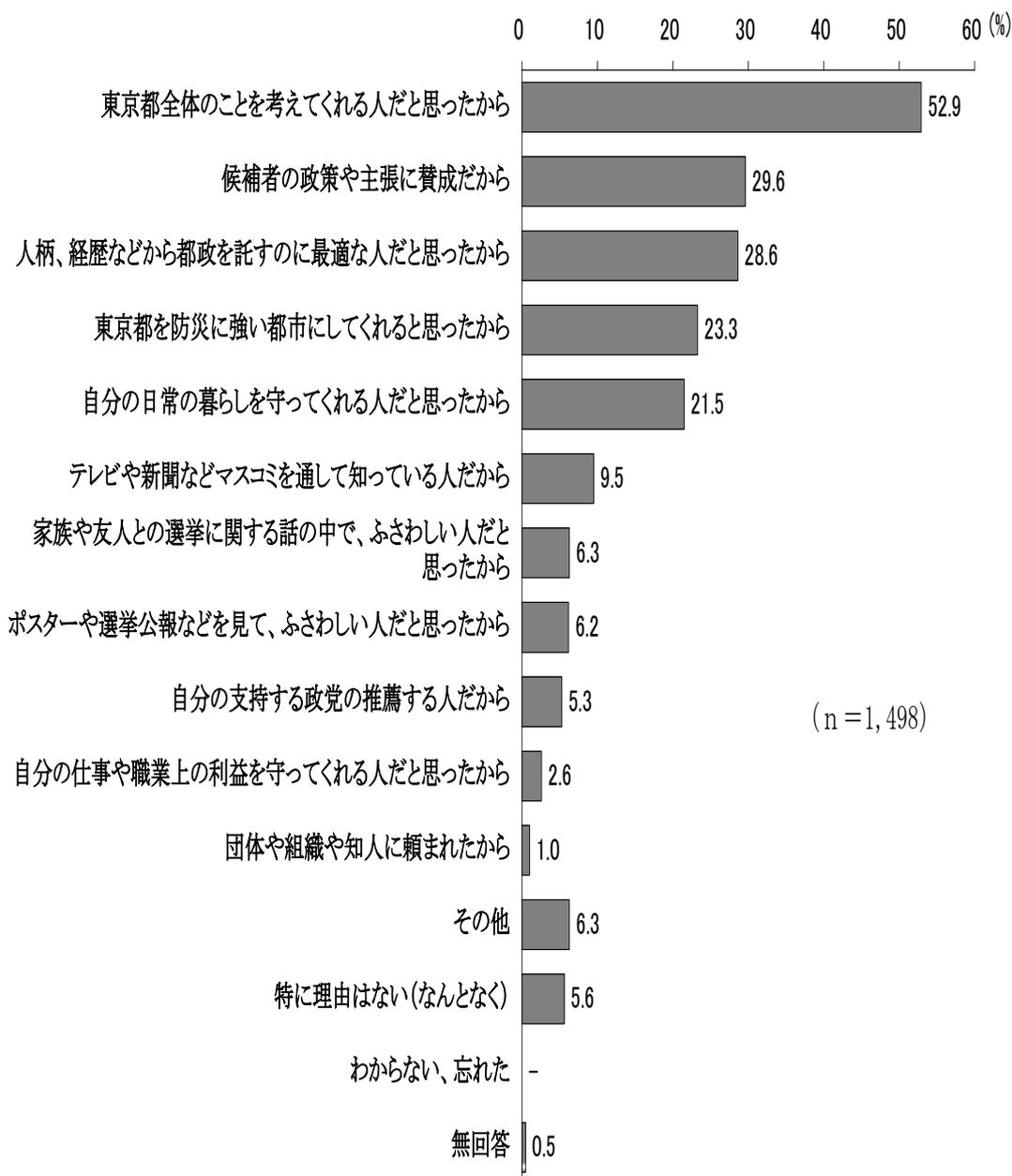
(1) 投票の動機(複数回答：本文 43 ページ)

「都政をよくするためには、投票することが大切だと思ったから」が5割を超えて最も高く、「投票することは義務であるから」が4割半ばと続いている。



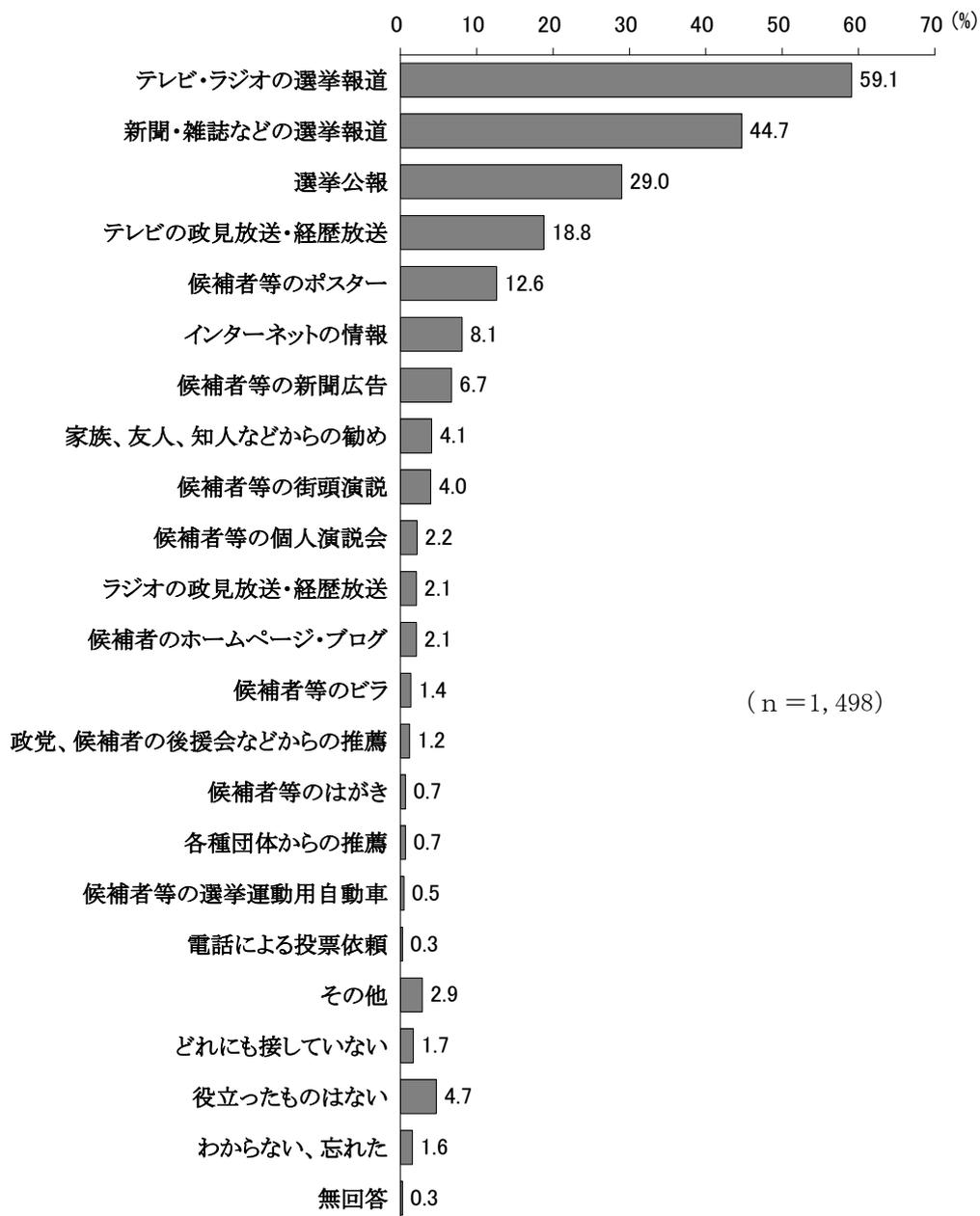
(2) 投票した候補者の選定理由(複数回答：本文 46 ページ)

「東京都全体のことを考えてくれる人だと思ったから」が5割を超えて最も高く、「候補者の政策や主張に賛成だから」、「人柄、経歴などから都政を託すのに最適な人だと思ったから」が約3割で続いている。



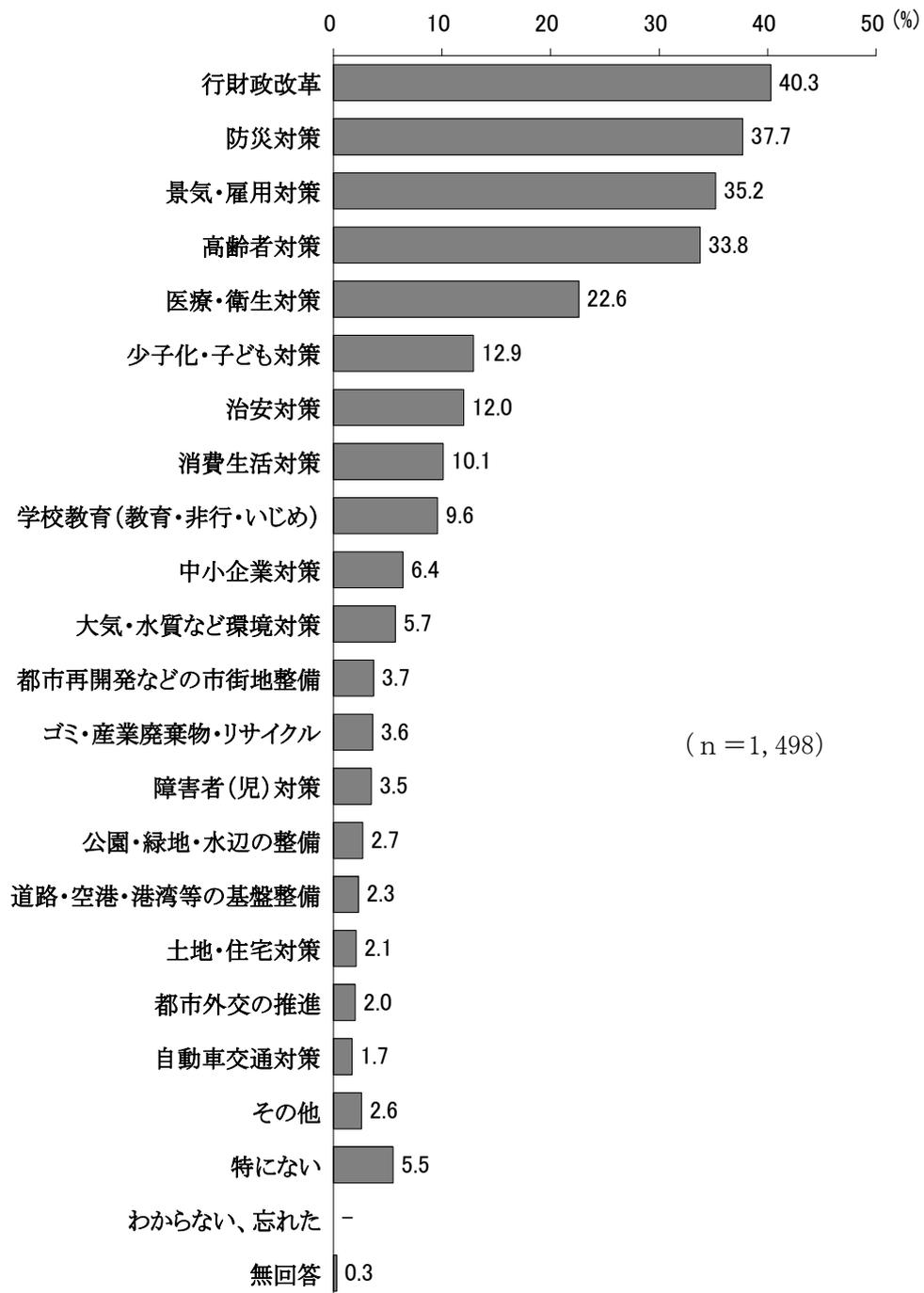
(3) 候補者の選定に役立った媒体(複数回答: 本文 51 ページ)

「テレビ・ラジオの選挙報道」が約 6 割と最も高く、「新聞・雑誌などの選挙報道」が 4 割台半ば、「選挙公報」が約 3 割と続いている。



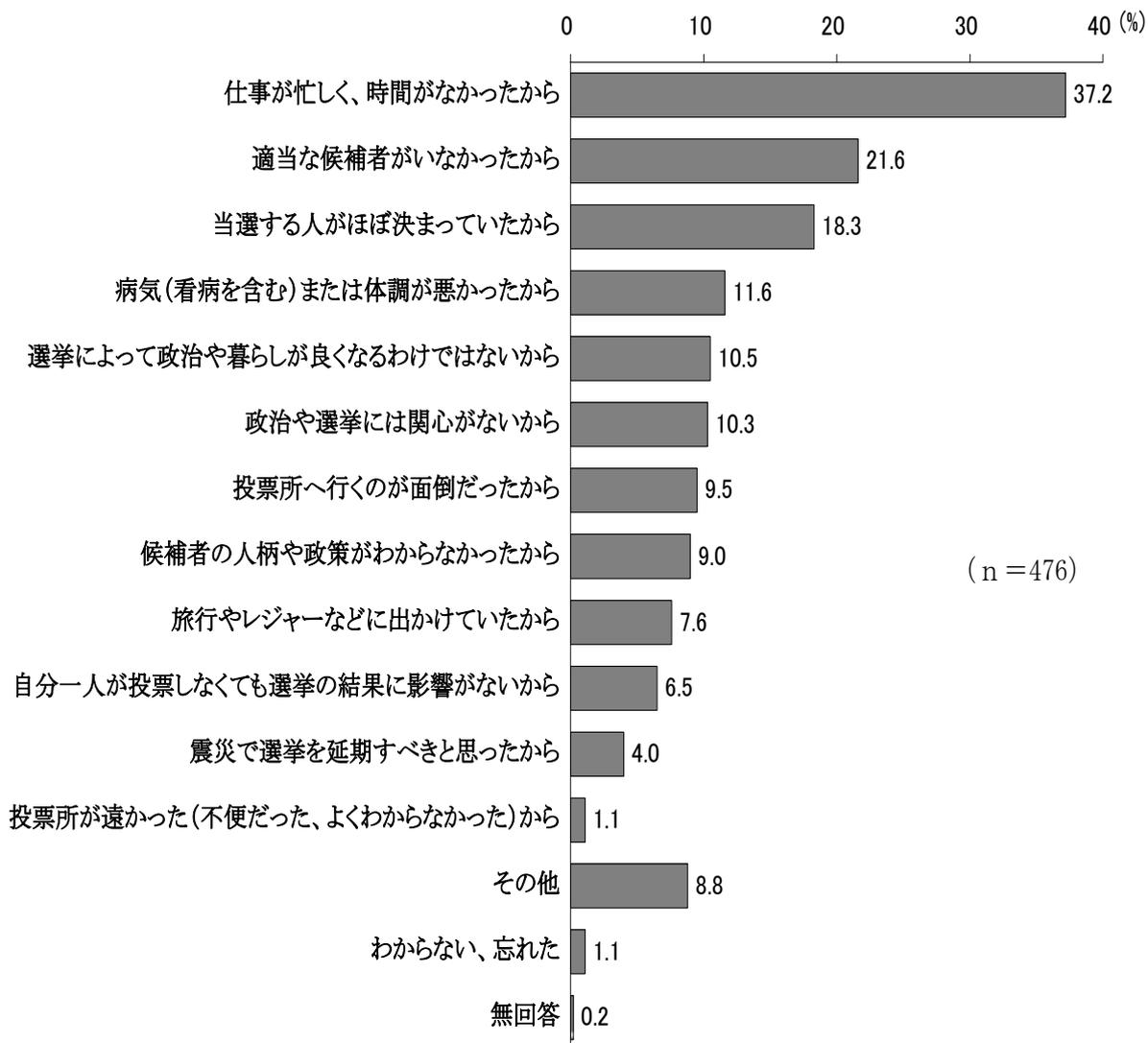
(4) 選挙の際に期待した政策 (複数回答 : 本文 52 ページ)

「行財政改革」が4割を超えて最も高く、「防災対策」、「景気・雇用対策」、「高齢者対策」と3割台半ば前後で続いている。



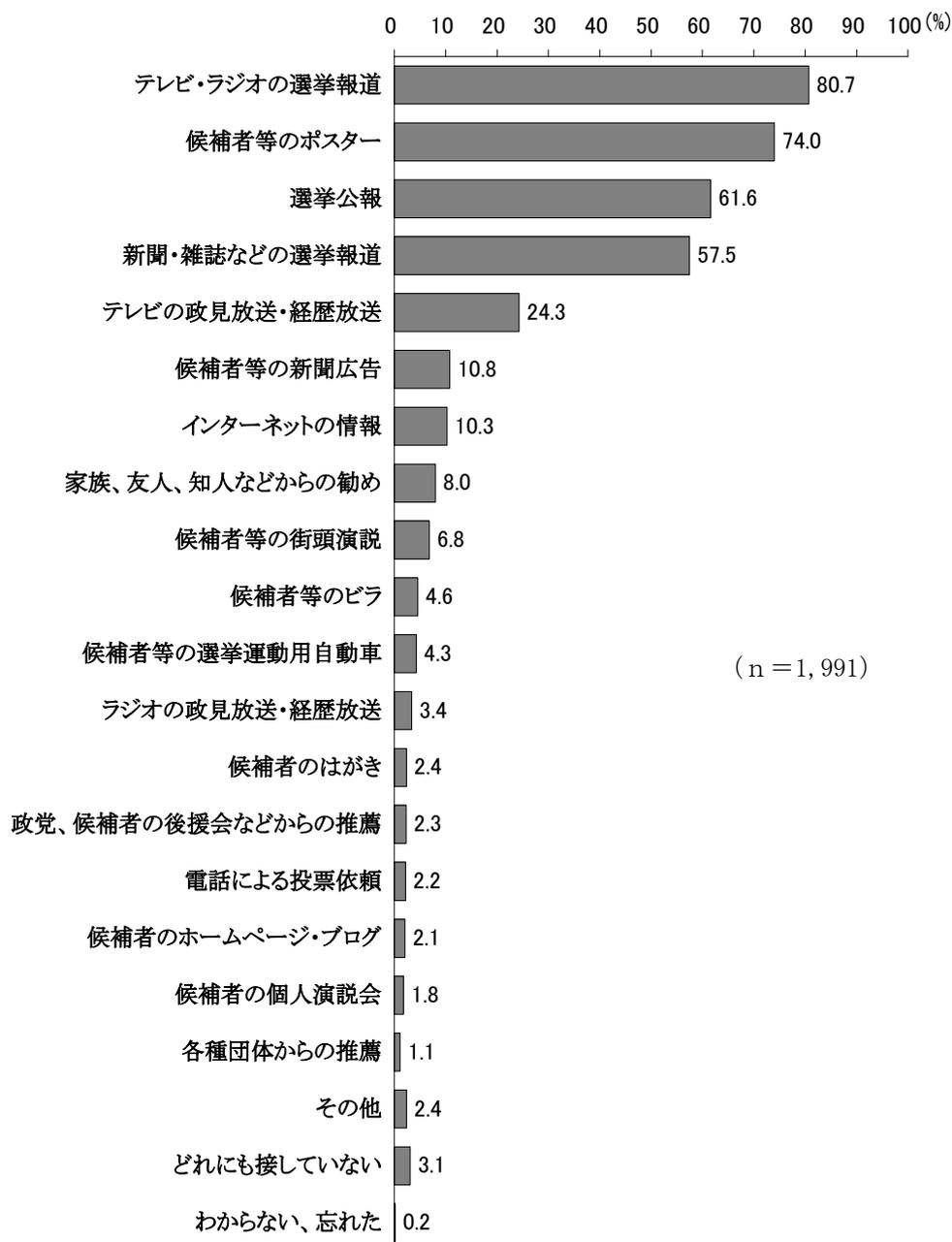
(5) 棄権理由(複数回答：本文 60 ページ)

「仕事が忙しく、時間がなかったから」が約4割と最も高く、次いで「適当な候補者がいなかったから」、「当選する人がほぼ決まっていたから」と続いている。



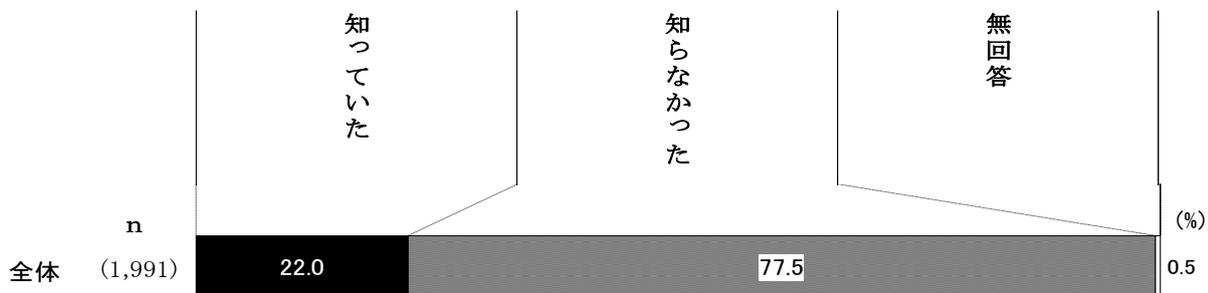
3 選挙公営と選挙啓発

(1) 接触した媒体(選挙の情報として、見たり聞いたり勧められたもの)(本文 102 ページ)
「テレビ・ラジオの選挙報道」が8割を超えて最も高く、「候補者等のポスター」が7割台半ば、以下「選挙公報」、「新聞・雑誌などの選挙報道」と続いている。

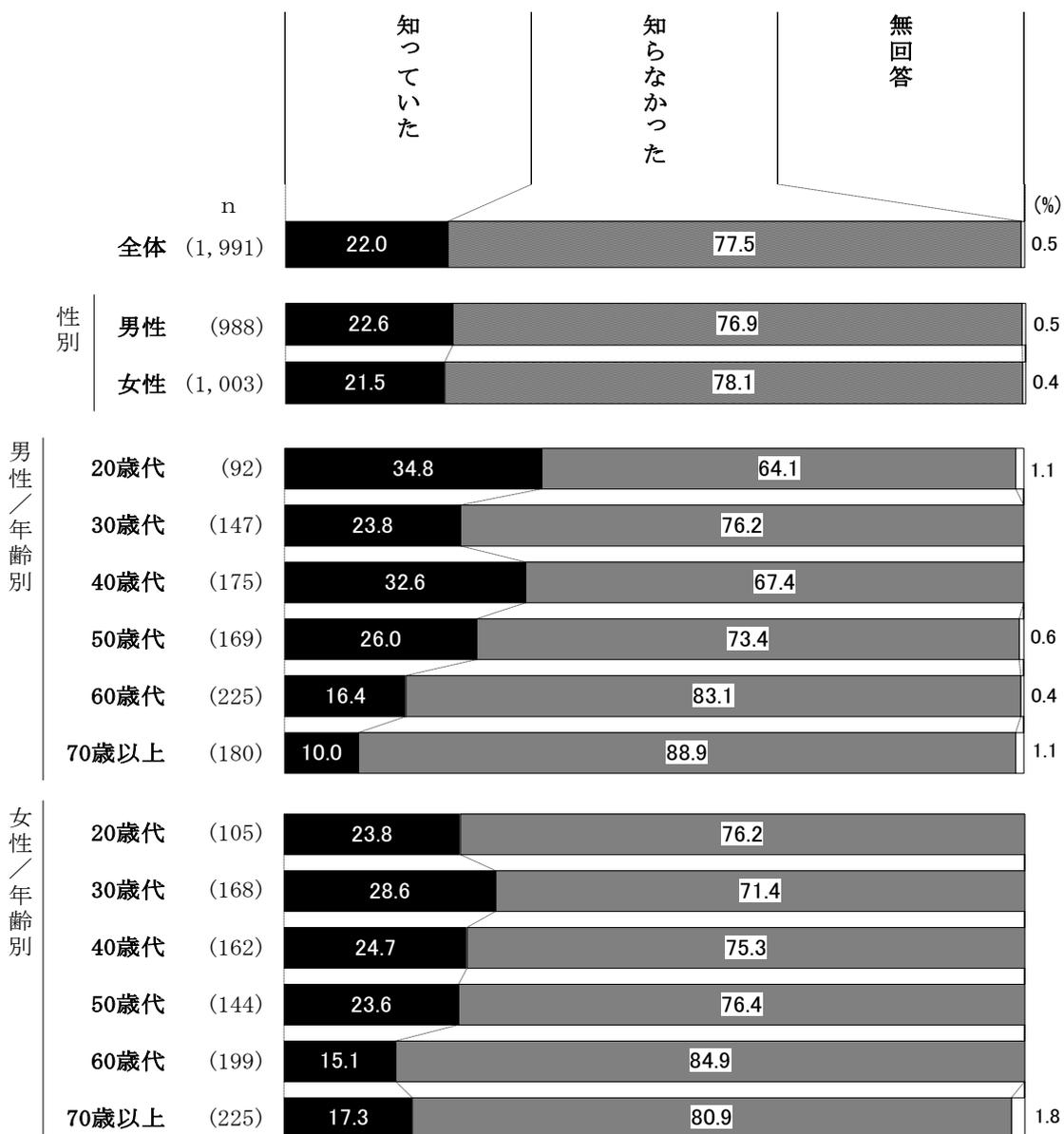


(2) AKB48のPR活動の認知度(本文 105 ページ)

「知っていた」が2割を超えている。性/年齢別でみると、「知っていた」は男性の20歳代と40歳代で3割を超えて高い。



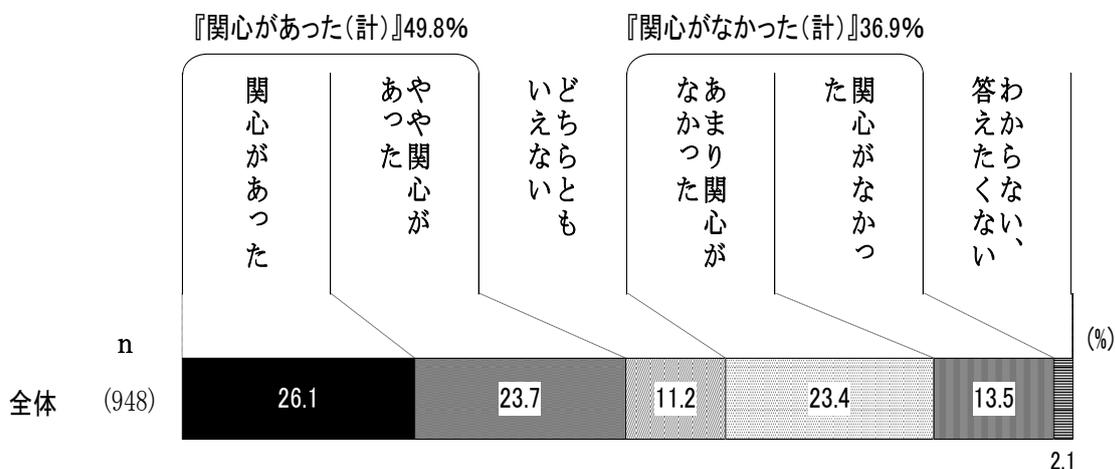
性別・性/年代別データ



4 区市町村長及び議会議員選挙に対する意識

(1) 区市町村長選挙への関心度(本文 114 ページ)

『関心があった(計)』が約5割となっている。



○ 区市町村議会議員選挙への関心度(本文 127 ページ)

『関心があった(計)』が約5割となっている。

